

## <不定期連載> 読書Fun!? 司書Sが楽しく読んだ本をご紹介します (第22回)

昨年から徳島大学が出版している雑誌「企業と大学」。この中に、「読みたい!この一冊」という本の紹介コーナーがあるのをご存知でしょうか。実は、このコーナーは図書館が担当しています。メインの本1冊を詳しく紹介、その他おすすめの本を3冊紹介するという内容で、図書館長から順に執筆してきました。そして、6月号、いよいよ順番が回ってきたので紹介文を書いたのですが、「その他」で紹介した本について、もう少しお話したいと思い、こちらでも紹介することにしました。

今回私が紹介したのは次の4冊です。

1. 働く大人のための「学び」の教科書 100年ライフを生き抜くスキル (中原淳著)  
(メインで紹介)
2. 塩一トンの読書 (須賀敦子著)
3. ビブリオバトル 本を知り人を知る書評ゲーム (谷口忠大著)
4. トップランナーの図書館活用術 才能を引き出した情報空間 (岡部晋典著)

実は、これらの本は少しずつつながりがあります。

まずは1と2。1の「働く大人のための『学び』の教科書 100年ライフを生き抜くスキル」の中に「本を1トン読む」という項目があります。これを見て「あ、そんなタイトルの本があったな・・・」と昔読んだものを引っ張り出したのが2の「塩一トンの読書」。

「本を1トン読む」というのは、ヤフー株式会社の宮坂学社長の言葉として紹介されています。一方、「塩一トンの読書」の方は、上智大学比較文化学部教授で多くのエッセイがある須賀敦子が、イタリア人の姑に言われた言葉「ひとりの人を理解するまでには、すくなくも、一トンの塩と一緒に舐めなければだめなのよ」を読書になぞらえたものです。前者はどちらかと言えば読書の効用に、後者は読書の豊かさに主眼があります。あわせて読むことで、読書が持つ力をより深く感じるすることができます。今回紹介した本の中では「塩一トンの読書」はやや異色です。他の本が現実の世界へのアクションを促すものであるのに対し、2は、「本」そのものを味わうものだと言えるからです。作者の須賀敦子さんは、文章が美しいことで定評があり、この「塩一トンの読書」は書評集でありながら、書評でとりあげられている本の著者が生きてきた情景までもありありと感じられ、まるで映画を見ているような感覚を味わうことができます。感情的な強い言葉は使わず、淡々と風景や起こった出来事を書いているだけなのに、そこにいる人の心の動きが感じられ、こちらの心が動いていく・・・本当に美しい文章を読むと、それだけで心に弾力がもどっていくような気がして、本を読むだけで十分なんだなと思える本です。

次に、1と3について。先の「本を1トン読む」の項の中で「どんな本を読むか」という話題が出たときに思い出したのが「ビブリオバトル」です。ビブリオバトルとは、最近多くの図書館や大学をはじめとした教育現場で行われるようになった書評ゲームです。ルールは簡単で、自分が読んで面白いと思った本を複数人で持ち寄り、5分で内容を紹介し合っどどの本が一番読みたくなったかでチャンプ本を決める、というものです。普段自分が読まない本と出会う格好の機会となりますし、安心して自分の話をできるプレゼンの場、そこで出会う人とのコミュニケーションの場ともなります。3の「ビブリオバトル 本を知り人を知る書

「書評ゲーム」は、考案者である谷口忠大先生によるはじめての「ビブリオバトル」解説本で、ビブリオバトルの誕生からはじまり、ビブリオバトルの楽しみ方、ゲームであることの重要性などがわかりやすく解説されています。ビブリオバトル、と聞くと「どの本が1番かを決めるなんて」という違和感をもたれる向きも多いですが、実際にこの本を読んでみると、勝負が目的ではなく、コミュニケーションが大きな目的であることがよくわかります。

こういう新しいゲームを創り、広める人の頭の中はいったいどうなっているんだろう、何故そんな創造力が生まれるんだろう・・・ということに一つの答えを見せてくれるのが、4の「トップランナーの図書館活用術 才能を引き出した情報空間」です。この本は、様々な業界のトップランナーがどのように図書館（もっと広く言えば情報）を活用してきたかについて、12人にインタビューしてその実態に迫ったものです。この中の一人が、偶然にも先にあげた谷口忠大先生でした。そのほか、落合陽一氏や荻上チキ氏など、幅広く活躍している方が挙げられていて、彼らが、学校の勉強の枠には収まらず、図書館やその他の情報から自らに必要なものをどんどんつかみに行った先に現在の活躍があることが生き生きと語られ、何だかワクワクします。そもそもこの本を読んだきっかけは、これからの図書館は何を提供したらいいのか？という問題意識からでしたが、情報量が多くて、自分の中でまだ整理ができず・・・とりあえず、もう一度じっくり読み解きたい本です。

というわけで、どの本も少しずつ重なりながら、広がっていく、これがまさに1の「働く大人のための『学び』の教科書」のうち「本を1トン読む」の項で示された効用「本を読むとは『自分の中に地図を持つこと』」なんだな、と思った次第です。

「企業と大学」のこのコーナーで毎月紹介される本も、そういう地図形成に大いに役立つと思います。また、「あの人がこんな本を紹介している！」という人と本の関係性も面白いのではないのでしょうか。是非一度、「企業と大学」とその中で紹介されている本を手にとってみてください。

企業と大学のリンクはこちら

→ [https://www.tokushima-u.ac.jp/anniversary\\_70th/memorial\\_ceremony/books.html](https://www.tokushima-u.ac.jp/anniversary_70th/memorial_ceremony/books.html)

※図書館本館、分館にて配布中

#### 「働く大人のための「学び」の教科書」の情報

- 書名：働く大人のための「学び」の教科書
- 著者名：中原淳著
- 出版社：かんき出版, 2018.1
- 所蔵情報：徳島大学附属図書館 所蔵なし

#### 「塩一トンの読書」の情報

- 書名：[塩一トンの読書](#)
- 著者名：須賀敦子著
- 出版社：河出書房新社, 2003.4
- 所蔵情報
- 所在：本館3階ホール(学術資料) 請求記号：019.9||Su 資料  
ID：216002896

#### 「ビブリオバトル 本を知り人を知る書評ゲーム」の情報

- 書名：[ビブリオバトル 本を知り人を知る書評ゲーム](#)
- 著者名：谷口忠大著
- 出版社：文藝春秋, 2013.4

- 所蔵情報
- 所在：本館2階学習室（新書） 080||Bu||901 貸出可 資料ID：213000371

「トップランナーの図書館活用術 才能を引き出した情報空間」の情報

- 書名：トップランナーの図書館活用術 才能を引き出した情報空間
- 著者名：岡部晋典著
- 出版社：勉誠出版, 2017.8
- 所蔵情報：徳島大学附属図書館 所蔵なし

---

[メールマガジン「すだち」第173号本文へ戻る](#)

---

【すだち】徳島大学附属図書館報 第173号

〔発行〕国立大学法人 徳島大学附属図書館

Copyright (C) 国立大学法人 徳島大学附属図書館

本メールマガジンについて、一切の無断転載を禁止します

---